

San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

TAKE FREE

さんいく保育園清澄白河
お昼寝のひととき



REPORT

Vol. **28**
2021 WINTER

特集 熊本、被災地支援活動レポート。

賛育会の新型コロナウイルス対策レポート Vol.02:
共にいる方々へ、寄り添う心を大切に。





～一人ひとりを想い、地域に寄り添う～

熊本、被災地支援活動レポート。

昨年7月の熊本県豪雨被害。被災された方々に、私たちはどうしたら寄り添えるのか。球磨村の被災者が避難された、旧多良木高校避難所での支援活動をお伝えします。

賛育会は2020年7月豪雨で甚大な被害を受けた熊本県球磨村の方が避難された先の一つ、旧多良木高校避難所に9月14日から11月1日まで東海・相良・豊野事業所から10名の職員が交代で支援に入りました。

廃校となった多良木高校を、熊本YMCAとPBV(ピースポート災害支援センター)が共同で避難所運営し、教室や体育館に段ボールの仮設間仕切り、ベッドという環境の中で、9月14日時点で、86世帯151名の方が避難所生活をされていました。

コロナ禍のこの避難所では、他の災害時の避難所ではよくある外部団体の慰問や炊き出し、マッサージ等のボランティアなど外部からの支援がほとんど受けられず、避難生活をより難しくしていました。そこで、熊本YMCA、PBVと話し合い、賛育会として避難所でどのような活動ができるのかを考え、高齢住民への生活不活発予防を含む個別支援、生活環境の整備、避難所閉鎖の準備等を行うこととなりました。

避難所支援に入る前に運営側のご配慮により、賛育会の職員は全員実際に被災した球磨村の現状を視察させていただきました。避難所のある旧多良木高校から車で約30分程度の場所で、倒壊したままの家屋や高架橋、球磨川沿いの倒木、多くの被災ごみが絡まったままの草木等が悲惨な状況で残っていました。なかでも特別養護老人ホーム千寿園を見た時には、2019年台風19号の千曲川氾濫による豊野事業所の被災に想いを重ね、視察した職員一人ひとりが

様々なことを感じました。奇しくも支援期間中は被災して1年を迎える時期でもあり、被災された方々の気持ちをより近く感じ、それぞれの思いを深める機会になりました。

避難所での活動は、高齢住民への個別支援として、介護現場からのアイデアをそれぞれが持ち寄り、脳トレや塗り絵アート、タッチケア等を実施しました。また、避難所生活で、避難者自身の役割づくりのために、花壇の水やりやクモの巣除去等を住民の方と一緒に行いました。

そんな活動の中、避難者の皆さん、他団体の方々、そして賛育会の職員と一緒に歌を歌っている場面があり「避難されている住民のために何ができるのか」という想いを中心に、団体や組織の垣根なく人と人が繋がり、共感の輪ができるのだと感動しました。

避難所の活動の中で「安心・安全の賛育会さん」と言ってもらえたことに、熊本支援に携わった賛育会職員一人ひとりの行動が、そういった言葉で評価されたことを嬉しく思うとともに、賛育会の支援が現地の役に立っているのだと感じました。

被災された住民の方々は避難所から仮設住宅や、みなし仮設へと新たな生活のスタートラインに立ったばかりです。そんな皆さんが少しでも早く元の生活に戻れるよう応援、お祈りし続けたいと思います。

(文:豊野事業所 介護医療院とよの 高橋 哲也)

賛育会の新型コロナウイルス対策レポート Vol.02

共にいる方々へ、寄り添う心を大切に。

新型コロナウイルスの感染症の状況が刻々と変化していく中、賛育会全体での感染症対策の徹底とともに、患者、ご利用者、園児の方々に寄り添う心を大切にされた様々な対策を行っています。



賛育会 病院

地域の皆様へ安心を。

賛育会病院では、感染症対策チームを中心に新型コロナウイルス対策会議にて、日々、刻々と変わるコロナウイルス状況に応じた対策を立てています。特に、来院者の手指消毒・マスク着用の徹底を重視していますが、それに加え、11月には検温結果がシールに印字される非接触型自動体温測定器を設置。受診者の検温漏れを防ぐことに活躍しています。

12月から駐車場に臨時診療室を設置し、予約制の発熱外来を開設しました。まずは、当院かかりつけの患者さんを対象に、診察を始めさせていただいております。

今後も感染症対策を徹底しながら、地域の皆さまが安心できる存在としてあり続けられるように、努めてまいります。



手指消毒

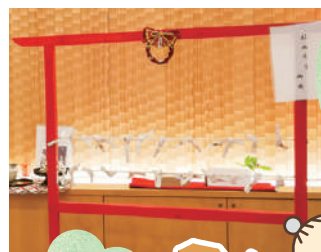


非接触型自動体温測定器

こんな時だからこそ、心通う生活を。

オンライン面会や食堂のテーブルに設置された透明のボードなど、現在の新しい生活様式では人と人の距離が離れてしまいがちです。新年を迎え、例年は初詣に行く施設でも、この状況下では行くことができません。そこで、地域の神社にご協力をいただき、施設内におみくじ御所を設置、ご利用者の皆さまにおみくじを引いていただき、新年の雰囲気を味わっていただきました。

これからも感染予防に取り組みながら、こんな時だからこそ、人とのつながり、地域とのつながりを一層深め、ご利用者の皆さまが楽しみと潤いに満ちた生活を送ることができるよう努めてまいります。



施設内のおみくじ御所



高齢者 施設



保育

子どもたちの笑顔を絶やさぬように。

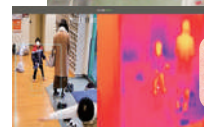
さんいく保育園では両園共に非接触型の体温測定を開始しています。特に清澄白河ではサーモグラフィカメラを導入しているので、元気に動き回る園児も簡単に計ることができます。

また、引き続き手指消毒の徹底や、密を避けるため保護者の方には「送り迎えは1名まで」にご協力いただき、感染症対策をしていくと共に、コロナ禍でも子どもたちの笑顔を絶やさぬよう、規模を縮小するなどして行事を行っています。

このような状況においても、職員一同一致団結して乗り切っていこうと思っています。



手洗いも、しっかり丁寧に



非接触型の体温測定

賛育会病院は、2020年11月から電子カルテのリニューアルを実施いたしました。

今までは、診察前に検査のある方は、一度診療科窓口にお越しただいておりましたが、今後は検査室に直行して

いただき検査を受ける流れに変更となりました。患者様からは、「行ったり来たりの手間が省けて時間も短縮になる」とのお声をいただいております。

これからも、患者様に寄り添い、地域の方々にとって信頼ある賛育会病院として、安心できる医療を提供できるよう種々の改善に取り組んでいきます。



Webサイトのご紹介

2つのサイトがリニューアル!
ぜひご活用ください。



賛育会病院
産科専門サイト
<https://www.san-iku.kai.jp>



賛育会訪問看護
ステーション
<https://www.san-ikukai.or.jp/sumida/station/>



INFORMATION

「賛育会特別募金キャンペーン」のお願い

一昨年、台風19号による千曲川決壊で水害にあった長野市豊野事業所の施設は、昨年3月末までを期日とした第一次豊野事業所復興募金が皆様のご支援により約5700万円集まり、目標の1億円には届きませんでした。垂直避難が出来ない平屋建てであったグループホームを除き、助成金申請と、多額の借入金により、12月末までで二つの建物の1階が復旧しました。95%以上のご利用者・患者の方々再び利用していただいております。地域の皆さまのご理解にも深く感謝いたします。

2020年度は、新型コロナウイルスの影響で賛育会病院の経営は大変厳しく、財政的に危機的な状況が続いています。そのため、豊野事業所復興に加えて、新型コロナウイルスによる医療・福祉事業を支えるために5千万円を目標として「賛育会特別募金キャンペーン」を今年3月末までを期日に行うこととなりました。

聖書には、このように書かれています。「惜しんでわずかしか種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。」(新約聖書コリントの信徒への手紙二9章6～7節)

賛育会病院では、経済的に困難にある人々や難民で仕事ができない外国籍の人々の診療や相談も行っています。賛育会の医療・福祉の働きが継続できるように、皆さまのご支援を切にお願いいたします。



豊野事業所復興支援チャリティーコンサート中止のご報告

昨年、11/26に長野市ホクト文化ホールで開催予定でした賛育会豊野事業所復興支援チャリティーコンサートは、長野市を含む長野圏域の新型コロナウイルス感染警戒レベルが、11/12にレベル3、11/14にはレベル4となり、同日新型コロナウイルス特別警報が発出されたため、急遽中止とさせていただきます。開催に向けて準備をして参りましたが、想定を上回る緊急事態に苦渋の決断を余儀なくされました

鑑賞ご希望の方や協賛寄付によりご支援を賜りました皆さまに、感謝とお詫びを申し上げます。

ご寄付についての詳細はWebをご覧ください
<賛育会後援会:ご寄付のお願い>

QRコードをスキャンしてください。



編集後記

1月に非常事態宣言が発令されました。日に日に、新型コロナウイルスが感染拡大し、心配する日々が続いています。このSan-iku通信が発行される2月は、感染状況がどうなっているか判りませんが、1日でも早く終息することを願っています。またエッセンシャルワーカーの皆さんに感謝する毎日です。(T.T.)

San-iku 通信

社会福祉法人賛育会の広報誌「さんいくつうしん」

San-iku通信 Vol.28 2021年 冬号

編集: 賛育会法人事務局

発行人: 中村 基信

発行所: 社会福祉法人 賛育会

印刷: (有)エースプリント (20210205-7500)

社会福祉法人 賛育会
〒130-0012 東京都墨田区太平3-17-8
URL <https://www.san-ikukai.or.jp/>
お問い合わせ
TEL: 03-3622-7614

